

平成 20 年 12 月 1 日

近年、鳥インフルエンザ（H5N1）が鳥から人に感染する事例が数多く報告されています。政府は鳥インフルエンザウイルスが変異し、新型インフルエンザの発生に備えた行動計画を定め準備を進めています。今回は厚生労働省がホームページに掲載した「**新型インフルエンザ対策パンフレット**」について紹介したいと思います。



行政が準備している対策

被害を減らすにはバランスのよい対策実行が必要

新型インフルエンザの被害をおさえるために、これひとつだけで大丈夫という解決策は残念ながら、ありません。いくつかの対策を組み合わせる必要があります。

[医療の充実]

薬

効果は発症をおさえたり
症状悪化をおさえること

からだの中でウイルスが増え、症状が出たり悪化したりするのを
おさえる薬があります。これを抗インフルエンザウイルス薬とい
い、国はタミフルとリレンザの2種類を備蓄しています。

パンデミック ワクチン

効果は期待できるけれど
いまは製造できないワクチン

新型インフルエンザウイルスをもとにつくったワクチンをパン
デミックワクチンといい、高い効き目が期待されています。ただ
し、このワクチンは新型インフルエンザが発生してからでなけれ
ばウイルスが手に入らないこと、ワクチンをつくるために一定の
時間がかかることなどから、すぐに使うことはできません。

プレパンデミック ワクチン

パンデミックワクチンと比べて
効果が確実とはいえないワクチン

パンデミックワクチンが間に合わない期間、鳥インフルエンザ
ウイルスをもとにつくられるものがプレパンデミックワクチン
です。このワクチンは新型インフルエンザに対してある程度まで
は効くと期待されています。国はこのワクチンを現在、製造・備蓄
しています。

病院と診療所

安心して治療できる
環境づくりを

新型インフルエンザの発生後は、病院で感染が広まることを避け
るため、熱の出た患者さん専用の外来をつくるなど、特別な体制
をとることになります。

[社会全体での取り組み]

空港・港で

感染している人の入国を
できるだけ見逃さない

海外で新型インフルエンザが発生した場合、感染した人やその
可能性のある人が国内へ簡単に入らないよう、国は検疫という
チェックを強化します。

学校で

学校は
感染が広まる場所

学校はウイルスが人から人へ感染しやすい場所です。休校する
ことで感染が広がる速度が落ちたり、感染する人の数が減ったり
するといわれます。

職場で

感染をひろげない
仕事のやり方を検討

仕事全体の量を減らし、在宅勤務や交代勤務、あるいは時差通勤
や出張・会議の中止などによって感染が広まらないような工夫を
できるだけ行うこととなります。

集会の延期や 中止の呼びかけ

感染の拡大は人と人が
近づくことから

多くの人が集まれば集まるほど、人から人への感染はますます広
まっていきます。ですから、人の集まる機会をできるだけ減らす
ことが重要になります。

外出を減らすこと の呼びかけ

かからないためにも
うつさないためにも

外出は人と近づく機会を増やします。どうしても必要なとき以外
は、できるだけひかえることがすすめられます。



一人ひとりにしてほしいこと

自分の健康も家族の健康もひとりだけでは守れない

新型インフルエンザは人から人へとうつっていきます。
ですから、自分ひとりだけで健康を守ることは難しく、
家族や友人、職場の仲間たちといっしょに、協力して守る必要があります。

[今からできる準備]

◎食料・日用品を蓄える

最低2週間は買い物なしで生活できるように

新型インフルエンザが流行している時期は、できるだけ自宅にと
どまることがすすめられますが、そのためには保存できる食べもの
や毎日使うものの備蓄をおさしましょう。

◎せきエチケット

せきやくしゃみは見えない唾液を飛ばしている!

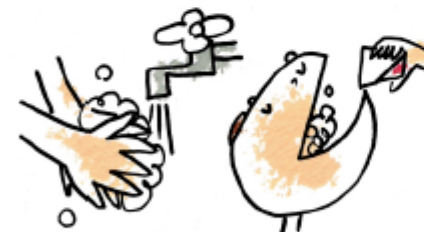
マスクをしていないときに、咳やくしゃみをする時は、ティッシュ
などで口と鼻をおおい、顔を他の人には向けずに、できれば
1メートル以上離れましょう。鼻汁・痰などを含んだティッシュは
すぐにフタ付きのゴミ箱に捨ててください。



◎正しい衛生習慣を身につける

習慣にすれば簡単にできること

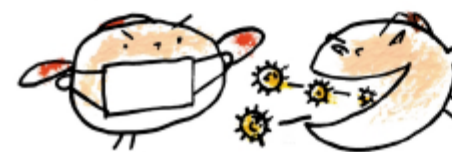
毎年冬にはやるインフルエンザには、かからないための予防法が
あります。これが新型インフルエンザの予防にも、それなりに
役立つと考えられます。具体的には、体の調子を整えておくこと、
外出から帰ったらうがいと手洗いをすることです。



◎マスクの着用

人にうつさないためにマスクの着用を

マスクはウイルスが体のなかに入ってくるのを、ある程度は防ぎ
ますが、そのいちばんの働きは、感染してしまった人が着用する
ことで、ほかの人への感染を防ぐことです。熱やせき、くしゃみと
いった症状があるときは、マスクをしてください。



◎助け合いの輪をつくっておく

流行期に一人きりで困る人を助けられる
ように考えておきたい

新型インフルエンザが流行すると、一人暮らしのお年寄りなどは、
まわりの人たちが助けてあげる必要があります。そのための連
絡法などは、今から確認しておきましょう。

◎鳥インフルエンザへの注意

弱ったり死んでいる野鳥には絶対にさわらない!

鳥インフルエンザの人へ感染は、まれに起きています。これは、
鳥インフルエンザで死んだ鳥や鳥インフルエンザにかかっている
鳥に直接触れたり、あるいは毛をむしる、調理をするといった
接触のあった場合に限られています。死んだり弱ったりしている
野鳥や鳥には、直接触れることのないようにしてください。

◎より詳しい情報は下記ホームページをご覧ください。
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekikaku-kansenshou04/index.html>
厚生労働省 新型インフルエンザ対策推進室

<参考>

- ・ <http://www.mhlw.go.jp>
厚生労働省>健康>感染症情報>新型インフルエンザ
新型インフルエンザ対策パンフレット